

- | |
|---|
| 1. 特に効果的であり改善に資した事例
E. 学習・研究環境の改善
④ICT 技術を利用した遠隔教育の推進 |
|---|

④ICT 技術を利用した遠隔教育の推進

《人社系》

●慶應義塾大学政策・メディア研究科政策・メディア専攻 「社会イノベータ育成コースの創設」の事例

(具体的に何を実施したのか)

- ・コースの代表的な講義である、「個益公益のデザイン」、「地域情報化論」、「低炭素社会設計論」などは e 科目（映像アーカイブを用いた授業）としても提供している。
- ・また、コース担当教員全員が出講するコア科目の「個益公益のデザイン」は、対面の授業と Web 会議のハイブリッドによるディスカッションを組み合わせ提供している。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・学生からのコースに対する要望を確認する座談会を開催した。その際、「Web 会議システムがとても充実している。社会人や仕事をされている方が時間を気にせずに授業を受けられるのはすごく便利だと思っている。課題としては、全員で話すことができないこと。システムの充実を希望する」(要約) という要望があった。そのため、全ての問題点を抽出し、効果的な講義運営につながるようなシステム改善を行い、高い評価を得られるようになった。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・地理的・時間的制約にとらわれることなく、教員、学生との議論の場として有効に機能し、実践知の創造に極めて有効であることが実証された。
- ・その結果、内部進学者だけでなく、他大学出身者、社会人など多様な人々が志願している。また、明らかにコース外の学生にも意欲、行動力、問題発見・解決能力などの面で好影響を与え、大学院全体をリードする頼もしい存在になっている。

《医療系》

●沖縄県立看護大学保健看護学研究科保健看護学専攻 「島嶼看護の高度実践指導者の育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

宮古島にサテライト教室を新たに開設し、遠隔によるテレビ会議システムを導入し、新科目やそれ以外の科目の授業や演習、研究指導、公開講義などを遠隔で実施した。サテライト教室では本学と可能な限り同じ通信システムで文献検索や文献依頼がスムーズにできるようにした。さらに実習調整や各種会議、他大学との相互受講や学術会議の自由集会なども遠隔によるテレビ会議システムを活用した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

テレビ会議システムや遠隔通信による遠隔教育を実施するにあたって、学生や教員の IT に対する苦手意識を改善するために、遠隔教育に対するガイダンスや FD 教育などを随時開

1. 特に効果的であり改善に資した事例

E. 学習・研究環境の改善

④ICT 技術を利用した遠隔教育の推進

催した。遠隔受講や遠隔配信に対する留意点などを整理して学生や教員に周知できるようにマニュアル等の作成を行い HP に掲載し、随時参照できるようにした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

最初は通信システムによる遠隔教育が一部の教員のみでの活用に限られていたが、徐々に遠隔教育のメリットを知ることで、教員や学生による遠隔システムの活用が急激に増加した。他大学との遠隔システムによる相互受講などの開催が可能になり、他大学の学生と直接画面でリアルタイムで交流できる機会が得られることで学生の学びや交流の拠点が広がった。事業終了後も他大学との相互受講は継続されており、米国在住の著名な看護学者の講義もリアルタイムで聴けることが可能になったことで費用対効果の高い教育方法の展開につながっている。公開講義などを宮古島や他の離島地域の看護職に遠隔で配信することで、知的財産を幅広く普及させることにつながっており、離島地域の看護職から継続した配信希望があり、今後も継続した遠隔教育の普及に努めていきたい。新たな事業では、八重山の石垣島にテレビ会議システムの構築を予定しておりさらなる発展的な遠隔教育の普及が期待できる。